



**デジタル田園都市国家構想交付金、
地方創生推進交付金 等
進捗状況について**

デジタル田園都市国家構想交付金、地方創生推進交付金等 効果検証 報告書

事業No	事業名称	事業内容	令和4年度の取組内容と実績				実績値を踏まえた事業の今後の方針			担当課	
1	勝山温泉センター「水芭蕉」滞在型観光周遊拠点整備事業	●「勝山温泉センター水芭蕉」の飲食機能と宿泊機能を強化するとともに、ロビーも恐竜化石発掘の地層をモチーフとすることで、恐竜博物館来館者が訪れる施設を目指す。	令和2年12月のリニューアル以降、従来の利用者である地元の高齢者に加え、ファミリー層や観光客の利用が増加している。また、改修によって飲食機能や宿泊機能が強化されたことで、客単価が上がり、売上は過去7年間で最高となった。 令和4年度の取り組みとしてはHP、SNSを活用した観光客へのPRやリピーター確保のためのポイント会員割引などを行い集客促進を図った。 また、コロナ禍におけるアウトドア需要に対応したキャンプ利用者なども取り込み利用者数の増加につなげた。				施設全体を恐竜モチーフに改修しており、令和5年7月にリニューアルした恐竜博物館を訪れるファミリー層をターゲットとしたPRを行い、入浴利用のみならず宿泊利用につなげていく。 これまでのHP、SNSでのPRに加え、恐竜博物館利用者に割引クーポン配布や新源泉の利用開始によるリニューアルキャンペーンなど効果的なPRを行い集客を図る。			商工文化課	
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け					
	地方創生拠点整備交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉棟の内装改修(厨房、食堂の移設) ・貸室の内装改修 ・サウナ更新 ・ボイラー更新 ・備品購入費(厨房機器、テーブルなど) 	198,038,940	R2.8	R3.3	第1期勝山市地方創生総合戦略 重点戦略2 施策(2)					
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R2	R3	R4	R5	R6		事業の効果
	指標①	温泉センター水芭蕉入浴客数(人) ※増加分のみ記載	目標値	2,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600		判断時期未到来
	指標②	温泉センター水芭蕉食堂利用者数(人) ※増加分のみ記載	目標値	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300		判断時期未到来
	指標③	温泉センター水芭蕉宿泊稼働率(%) ※増加分のみ記載	目標値	3	3	3	3	3	3		判断時期未到来
勝山市総合行政審議会 委員の意見											
・水芭蕉の入浴者数について、R3年の59,000人に対し、R4年は10,000人と減少していますが、その理由は何でしょうか？											
事業No	事業名称	事業内容	令和4年度の取組内容と実績				実績値を踏まえた事業の今後の方針			担当課	
2	勝山市観光まちづくり株式会社	●勝山市観光まちづくり株式会社が、市内企業や市内外(都市圏)の大学生を始めとした人材等を巻き込み、産官学金言の連携の基に、人口の社会減に歯止めをかけるため下記の事業を実施する。 1 市内企業を中心とした関係人口創出事業 ・全国の大学生を対象とした長期インターンシップ(1ヶ月程度)実施 ・市内企業におけるダブルワーク人材の活用事業 ・移住者スカウトサイトを活用した情報発信・マッチング事業 2 市内企業向け採用活動支援事業 ・大学生との意見交換イベントやWEBでの市内企業説明会、「採用力」の向上に向けた企業塾の実施 ・市内企業PR冊子とそれに付随するWEBサイトの作成	令和3年度の実績を踏まえ、企業だけではなく、市民全体に向けたワークショップや講座等を開催し、市全体での外部人材の受け入れの体制構築を実施した。 ※取組内容と実績については、No.6勝山づくり人創造推進事業と同じ				※No.6勝山づくり人創造推進事業と同じ			商工文化課	
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け					
	地方創生推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ●下記に係るまちづくり会社への委託費等 ・長期インターンシップ(1ヶ月程度)実施 ・市内企業のダブルワーク人材活用に係るマッチング ・移住者スカウトサイトを活用した情報発信とマッチング事業 ・市内企業向けの企業塾開催 ・WEBでの市内企業説明会開催 ・向上に向けた企業塾の実施 ・市内企業PR冊子とそれに付随するWEBサイトの作成 ・市内企業同士の意見交換会の運営 	9,474,000	R2.4	R4.3	第1期勝山市地方創生総合戦略 重点戦略1 施策(5)					
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R2	R3	R4	R5	R6		事業の効果
	指標①	市の事業から創出した関係人口数	目標値	10	20	30	-	-	-		未達成
	指標②	勝山市内における高校・専門学校・短大卒業者(新規学卒就職者)の雇用者数	目標値	1	2	3	-	-	-		達成
	指標③	勝山市内における大学卒業者(新規学卒就職者)の雇用者数	目標値	1	2	3	-	-	-		達成
指標④	市内企業インターンシップ・企業体験参加者数	目標値	4	6	8	-	-	-	未達成		
勝山市総合行政審議会 委員の意見											

デジタル田園都市国家構想交付金、地方創生推進交付金等 効果検証 報告書

事業No	事業名称	事業内容	令和4年度の取組内容と実績					実績値を踏まえた事業の今後の方針			担当課	
3	ICT技術やマイナンバーを活用した窓口手続きの迅速化による住民サービスの向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市窓口での各種行政手続きの迅速化や利便性の向上を図るため、ICT技術やマイナンバーカードを活用する下記の事業を実施する。 ・市民窓口の申請書作成支援システム導入 ・市民窓口キオスク端末を設置 ・市民窓口とすこやか窓口にZoom端末を設置 ・会計窓口にセミセルフレジを設置 	市窓口での各種行政手続きの迅速化や利便性の向上を図るため、ICT技術やマイナンバーカードを活用する下記の事業を実施した。 ・市民窓口の申請書作成支援システム導入(R5.3) ・市民窓口キオスク端末を設置(R5.3) ・市民窓口とすこやか窓口にZoom端末を設置 ・会計窓口にセミセルフレジを設置					マイナンバーカードを活用したサービスの利用を促進するため、市広報や窓口での対応等を通して、マイナンバーカードの新規取得と利活用等について継続的に周知を図っていく。			市民課 ・ 会計課	
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け						
	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル美装タイプ)	(ソフト) ・申請書作成支援システム保守料 ・キオスク端末利用料 ・オンライン遠隔システムライセンス料 (ハード) ・申請書作成支援システム導入 ・キオスク端末導入 ・セミセルフレジ導入 ・オンライン遠隔システム端末導入	13,900,000	R4.4	R5.3	第2期勝山市地方創生総合戦略 横断的分野3 デジタル技術の積極的な活用						
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R4	R5	R6	R7	R8	事業の効果		
	指標①	申請書作成支援システム利用者数(件)	目標値	20	500	1,000	-	-	判断時期未到来			
			実績値	100			-	-				
	指標②	庁内キオスク端末未利用件数(件)	目標値	10	250	500	-	-	判断時期未到来			
			実績値	323			-	-				
	指標③	窓口手続きに係る時間の短縮(分)	目標値	15	15	10	-	-	判断時期未到来			
			実績値	15			-	-				
指標④	窓口での証明書発行件数の減少(件/日)	目標値	70	70	45	-	-	判断時期未到来				
		実績値	70			-	-					
勝山市総合行政審議会 委員の意見												
・市民窓口とすこやか窓口にZoom端末を設置とありますがどの様に活用されているのかご教授ください。また、市民窓口以外にキオスク端末を設置することを検討しているのかご教授願いたい。 ・「持続可能な集落を目指して、現状の行政協力員の業務見直しと平行して、行政区の新しいあり方を検討していく。」とありますが、デジタル田園都市国家構想交付金が利用できるのであれば活用することを検討してはいかがでしょうか。												
4	ICT技術を活用した生活環境の健全による住民サービスの向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が現場で確認した市民の困りごとに関する情報(積雪、災害、クマの出没、道路の損傷など)を、迅速に市役所全体で情報共有を図り対応できるよう、市役所の電話交換機をクラウド上におき、市職員が所有するスマートフォンを市役所の内線電話として活用できるアプリを導入する。 	これまで庁舎内にあった電話交換機及び固定電話機を廃止し、電話交換機をクラウド上に置き、電話機を携帯電話(スマートフォン)化することで、市民サービスに直結する情報を素早く共有できるようにした。また、場所に縛られることなく電話を受けることができるため、市民の方をお待たせする時間を減らすことができた。					今後は業務用電話機のスマートフォン化の範囲をさらに広げ、出先機関も含め市全体での情報の共有化、対応の迅速化を図る。			財政課	
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け						
	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル美装タイプ)	(ソフト) ・業務用電話機携帯化システムライセンス料 ・回線利用料 ・保守料 ・携帯使用料 (ハード) ・業務用電話機携帯化システム構築費	17,481,000	R4.4	R5.3	第2期勝山市地方創生総合戦略 横断的分野3 デジタル技術の積極的な活用						
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R4	R5	R6	R7	R8	事業の効果		
	指標①	業務電話機の携帯化件数(件)	目標値	200	300	400	-	-	判断時期未到来			
			実績値	253			-	-				
	指標②	課内報告時間の短縮(時間)	目標値	8	6	4	-	-	判断時期未到来			
			実績値	8			-	-				
	指標③	市民アンケートにおける「道路の除排雪の状況」に満足している人の割合(%)	目標値	32.3	35	40	-	-	判断時期未到来			
			実績値	-			-	-				
勝山市総合行政審議会 委員の意見												
・行政側としてICT化が必要などのような業務等があり、市民の利便性が上がるICT化はどのような業務なのか、検討している内容があればご教授願いたい。												

デジタル田園都市国家構想交付金、地方創生推進交付金等 効果検証 報告書

事業No	事業名称	事業内容	令和4年度の実績				実績値を踏まえた事業の今後の方針			担当課
5	デジタル技術を活用した上下水道料金のコンビニ収納による住民サービスの向上事業	●市民の利便性向上を図るため、上下水道料金の支払いについて、24時間365日いつでも支払いが可能なコンビニ収納代行サービスを導入する。	令和5年度から上下水道料金のコンビニ収納に対応するため、システム改修等の準備を実施した。 具体的には、コンビニ対応用の納付書や窓あき封筒の印刷、バーコード生成や帳票の変更、帳票印刷にかかる料金システムの改修、収納料金消込システムの改修、コンビニ収納データの接続テストを実施した。 さらに、コンビニ収納を実施するにあたり、これまで上水道料金2か月分、下水道等使用料2か月分を交互に請求していたものを、上水道料金1か月分、下水道等使用料1か月分の同時請求に変更するための調整を3月請求、4月請求で実施した。 合わせて、広報かつやま12月、3月号、および11月、2月の検針時にチラシにて市民への周知を図った。				請求方法の変更のための調整が4月請求分で完了するため、5月1日請求分から水道料金と下水道等使用料の同時請求及びコンビニ収納を開始。初回納付書発送は、これまで封書にて送付していたものから、圧着ハガキ型に変更。 督促状や口座振替不能通知等は、コンビニ対応3連式納付書を発送。 これまでの金融機関と市役所での納付から、24時間対応できるコンビニ納付が増えたことで、料金の支払い忘れが減り、督促状の送付が減るものと見込む。			上下水道課
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け				
	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル美装タイプ)	(ソフト) ・コンビニ収納に対応する納付書、窓あき封筒印刷費 ・コンビニ収納導入のためのテスト費用 ・通信回線利用初期費用 (ハード) ・料金システム改修費用 ・料金消込システム改修費用	16,410,000	R4.4	R5.3	第2期勝山市地方創生総合戦略 横断的分野3 デジタル技術の積極的な活用				
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R4	R5	R6	R7	R8	事業の効果
	指標①	コンビニ収納利用件数(件)	目標値	0	300	500	-	-	判断時期未到来	
			実績値	0			-	-		
	指標②	督促状の発送割合(%)	目標値	2.6	3	2.4	-	-	判断時期未到来	
		実績値	2.6			-	-			
指標③	市民アンケートにおける支払い方法の満足度(%)	目標値	0	15	30	-	-	判断時期未到来		
		実績値	0			-	-			
勝山市総合行政審議会 委員の意見										
6	勝山づくり人創造推進事業	●勝山市観光まちづくり株式会社を中心とした勝山づくり人研究会が、県外・市外で活躍する人材と市民団体や市内企業に存在するまちづくりのプレーヤーが協働して取り組む事業を、次のとおり実施する。 (1)県外・市外で活躍する人材の招聘による市民主体のまちづくり推進事業 ・県外・市外のクリエイターを講師とした市民向けワークショップやまちづくり活動の実施 ・ダブルワーク人材と市内企業とのマッチングを実施 (2)外部人材の受け入れに備えた市民向けのスキルアップ研修実施事業 ・ハブ人材創出研修 ・ヒアリング力や思考力の向上研修 (3)各種事業に係る情報発信費等 ・各種取組みの全国的な情報発信 ・市内企業PR用のWEBサイト作成	●プレイヤー育成 市内や市内企業・個人事業主を中心に住民参加型のプレイヤー育成学習会を実施した(講師7名、参加者101名) ●ダブルワーク人材と企業とのマッチングに向け、外部で活躍する人材を招き、モデル企業を対象とした2拠点活動従事者受け入れに対する課題の解決を図った(モデル企業2社、外部人材2名) ●市民の外部人材受け入れに対するスキルアップのため、県内外で活躍する人材によるイナカを題材としたトークセッションを行った。(外部人材16名、参加者150名) ●情報発信 移住者スカウトサイトを活用した関係人口の受け入れ及び受け入れプログラムの検証を実施(プログラム数3)、市内プレイヤー創出事業等の参加者にサポートを当て、記事をPrimes、noteに掲載(4名) ●その他 企業紹介ポータルサイト作成業務 市内企業の魅力を伝えるための情報発信コンテンツとしてH30に制作した、企業紹介冊子「いんとろ」にリンクしたHPの充実、更新を図った。				令和4年度は市民向けのスキルアップ研修を実施し、市民はまちづくり活動への意欲を持ち始めている。コロナ禍による行動制限も緩和され、ますますその動きが加速している。これまでに学んだことを実践する場の提供に重点を置く。			商工文化課
	交付金の種類	主な支出	事業費(円)	開始年度	終了年度	総合戦略の位置付け				
	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	●下記に係るまちづくり会社への委託費等 (1)県外・市外で活躍する人材の招聘による市民主体のまちづくり推進事業 ・県外・市外のクリエイターを講師とした市民向けワークショップやまちづくり活動の実施 ・ダブルワーク人材と市内企業とのマッチングを実施 (2)外部人材の受け入れに備えた市民向けのスキルアップ研修実施事業 ・ハブ人材創出研修 ・ヒアリング力や思考力の向上研修 (3)各種事業に係る情報発信費等 ・各種取組みの全国的な情報発信 ・市内企業PR用のWEBサイト作成	6,266,000	R4.4	R6.3	第2期勝山市地方創生総合戦略 政策分野2 まちの楽しさを創る				
	本事業における重要業績評価指標(単位)			指標値	R4	R5	R6	R7	R8	事業の効果
	指標①	本事業を通じて創出した関係人口数(人)	目標値	10	20	30	-	-	判断時期未到来	
			実績値	12			-	-		
	指標②	本事業を通じて創出した移住者数(人)	目標値	1	2	3	-	-	判断時期未到来	
		実績値	1			-	-			
指標③	本事業を通じて創出した市民独自のまちづくり活動数(事業)	目標値	1	3	5	-	-	判断時期未到来		
		実績値	2			-	-			
指標④	移住者数(人)	目標値	10	20	30	-	-	判断時期未到来		
		実績値	13			-	-			
勝山市総合行政審議会 委員の意見										